

警戒レベルを用いた避難情報

市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、総合的に避難指示等の発令を判断します。

避難情報等

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	命の危険 直ちに身の安全を確保! 安全な避難ができず、命が危険な状況です。	緊急安全確保 ※2 ※2 必ず発令される情報ではない (安城市が発令)
《警戒レベル4までに必ず避難》		
警戒レベル4	危険な場所から全員避難! 災害リスクのある区域の居住者等は今すぐ避難してください。警戒レベル5の発令を待ってはいけません。	避難指示 (安城市が発令)
警戒レベル3	危険な場所から高齢者等は避難! 避難に時間を要する人(高齢者、障害者、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難を開始しましょう。	高齢者等避難 (安城市が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	大雨注意報等 (気象庁が発令)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発令)

※1 警戒レベルは必ずしも1から5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

防災気象情報の見方

防災気象情報が発表されたら、段階ごとにとるべき行動を確認し、早めの避難や準備に心がけましょう。

令和8年5月29日から、防災気象情報が変わりました。

ポイント①

災害の種類を4つに整理！
情報が「河川氾濫」「大雨」「土砂災害」「高潮」の4つの災害に整理され、「何の危険が迫っているのか」が、より具体的になります。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

ポイント②

危険度が「警戒レベル」でわかる！
危険度を5段階の数字（警戒レベル）で表示。今がどの程度危ないのかがひと目で分かり、とるべき行動を直感的に判断できるようになります。

線状降水帯の発生などは「気象防災速報」として発表します

数年に一度の猛烈な雨が観測された場合や、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続いている場合には、気象台から、「気象防災速報(記録的短時間大雨)」や、「気象防災速報(線状降水帯発生)」が発表されます。この情報が発表された地域では、災害の発生につながる事態が生じていることを意味しています。

「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります

●大雨などのときには、テレビやラジオなどで最新の注意報・警報の発表状況を確認するようにしましょう。また、NTTテレホンサービス「177」や気象庁ホームページ(<https://www.jma.go.jp/>)でも確認できます。※安城市に注意報・警報が発表される際の雨量基準値などについては、気象庁ホームページで知ることができます。

警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

これらの情報には「警戒レベル」はつきませんが、大雨などの防災気象情報と同様に注意してください。

発表基準

特別警報

極めてまれで異常な現象

警報

重大な災害の発生するおそれのある現象

注意報

災害の発生するおそれのある現象

特別警報

暴風、波浪、大雪、暴風雪

警報

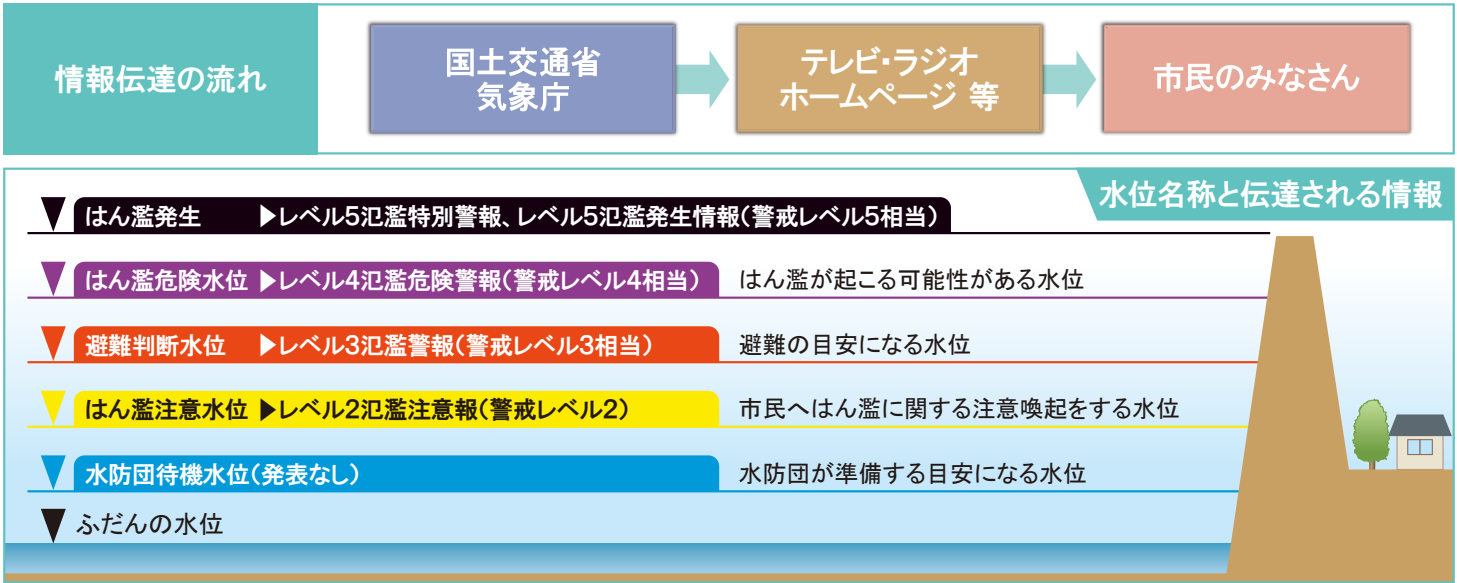
暴風、波浪、大雪、暴風雪

注意報

強風、波浪、大雪、風雪
濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、霜、低温、融雪

● 矢作川のはん濫発生情報

川から水があふれ氾濫が発生するおそれがあるとき、国土交通省と気象庁が共同して洪水予報を発表します。
※河川名と危険度のレベルに応じた情報名を組み合わせで発表します。



● 雨の強さと降り方 (1時間雨量)

やや強い雨 10～20mm未満	強い雨 20～30mm未満	激しい雨 30～50mm未満	非常に激しい雨 50～80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。	土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小河川ならはん濫、また、がけ崩れの心配もあります。	激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。	滝のように降り、あたりが水ぶきで白っぽくなります。屋内で寝ている人の半数くらいが気づくほどの激しい雨で、多くの災害が発生します。	息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

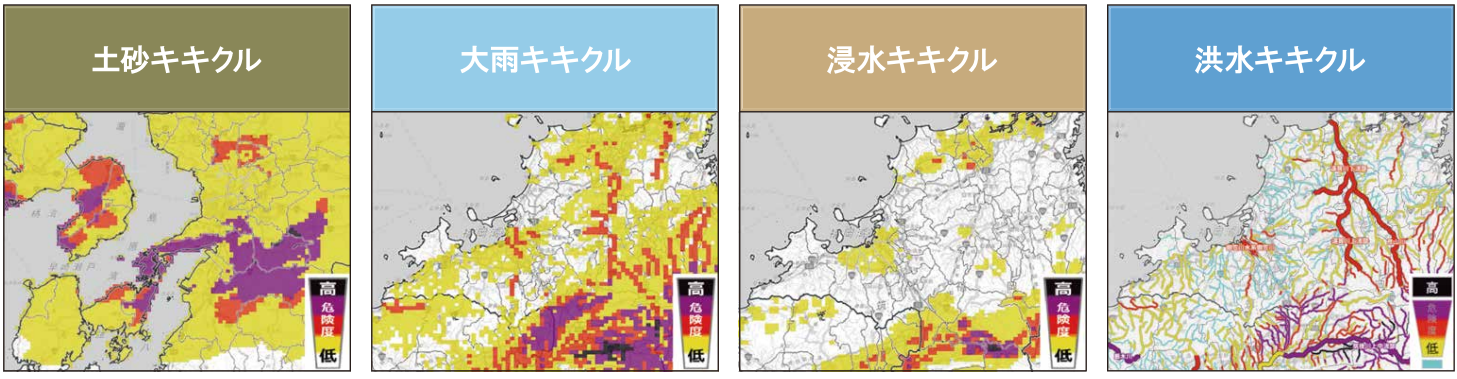
※気象庁資料参照

● キキクルで、地域の状況を確認しましょう

大雨による災害リスクの高まりを地図で確認できる気象庁のサービス「キキクル」で、「今、どこが危ないか」を確認しましょう。
危険度は4段階の色分けで表示され、リアルタイムで確認できます。

キキクル

検 索



※気象庁資料参照